

大日小の教育理念 「地域に学び、地域とともに」

→大日小の教育の根底に流れる大河

大日小の学校教育目標

「自ら学び 心豊かで たくましい児童の育成（開拓者魂）」

〔1〕自ら学ぶ・・・自ら学ぼうとする態度を育てる・・・基礎的・基本的な知識及び技能

知識や技能を活用して課題解決するための
思考力・判断力・表現力
主体的に学習に取り組む態度

〔2〕心豊か・・・寛容な心をもっていじめをなくすとともに、・・・明るく、元気で礼儀正しい態度
真実を見つめる清んだ眼をもつ。

正義を重んじ、尊ぶ心
道端の花を美しいと感じる素直な心
生き物の命を感じる思いやりの心
友とともにあり、力を合わせ、高め合おうとする心
学ぶことの楽しさ、喜びを感じる心

〔3〕たくましさ・・・健康で強い意志をもち、・・・心身の健康を求める姿勢
力強く活力に満ちた生活を送る。

挨拶・返事・協力・協働・勤労等を重んじる姿勢
目標に向かって粘り強く、一生懸命に取り組む姿勢

※「開拓者魂」とは何か

地域に受け継がれる開拓者としての精神

→現状に満足せず、困難にあえて立ち向かい、不可能を可能にしようとするたくましい心
と行動力、団結力

=いつかその手に掴むことができると信じ実現するための信念

めざす児童像 →義務教育9年間（15歳の姿）を見通した児童像

◎だれもが元気大日っ子（体）・・・心身の健康・基本的な生活習慣

→15歳 明るくたくましい身体と強い精神力を備えた15歳

◎いつもチャレンジ大日っ子（徳）・・・自主・自律・勤労

→15歳 粘り強く、一生懸命に活動する15歳

目標を掲げ、達成に向けて前向きに努力する15歳

◎にこにこなかよし大日っ子（徳）・・・明朗・協力・協調・思いやり

→15歳 明るく礼儀正しい15歳

15歳の姿へ

※小5・小6・中1

13歳の姿も視点に

正義を尊び、思いやりのある心豊かな15歳

◎ち性豊かな大日っ子（知）…基礎学力・探究・創意工夫

→15歳 よく考え、判断し、主体的に学ぶ15歳

大日小の教育（手立て）

「子どもたちと職員のウェルビーイング（協調的幸福感）のためになるか否か」を判断基準とする。

令和7年度の柱として

- ・創立50周年を終え、次の時代の大日小学校を創り上げる
- ・各学年3学級（1年は2学級）を生かした取組の継続（運動会、たてわり活動等）
- ・本校の特色（開拓、多国籍）を活用した学習活動

1 主体的・対話的で深い学びの実現…「ち性豊かな大日っ子」

◎主体的・対話的で深い学びを通じた、子どもたちに満足感を味わわせる学習指導

- 学習指導要領の趣旨を踏まえた教育課程の編成
- すべての学習の土台となる基礎・基本の徹底…「ドリルタイム」の時間での反復学習
※ちばっこチャレンジ100の活用
- 読書を通じた知識の獲得や思考力等の育成…「朝読書」（10分間）による読書の習慣化
- 主体的・対話的で深い学びの実践…子どもたちの頭・体・心が動く授業の創造
研究主題 互いに認め合い、よりよい人間関係を築こうとする児童の育成
～思いを伝え合う活動を通して～
※ホワイトボード、タブレットによる思考の可視化
授業の振り返りを文章で書く、文字数の指定
- 指導と評価の一体化…学習問題は青囲み、まとめは赤囲みにし、授業のねらいと評価の観点を意識
- 「自己有用感」を育む授業づくり…「達成できた」「認められた」「活躍できた」といった瞬間を
R6学校評価（児童） Q「学校で勉強したことがわかるようになりましたか」9割が肯定的回答
- 基礎学力の向上 各学年の学力向上策
- 学習意欲を高める環境整備…整理整頓され整然とした環境づくり
- 特別支援教育の充実…全校体制で特別支援教育をより充実させ、一人一人の力を伸ばす
- 教職員の授業力向上…校内相互授業参観と他校研究会への参加

2 健やかな心身の育成…「たくましさ」…「だれもが元気大日っ子」

「心豊か」……「いつもチャレンジ大日っ子」

「心豊か」……「ここにこなかよし大日っ子」

◎「心身の健康」を、生徒指導を中心とした全教育活動で育成する。

- 「大日っ子の一日（学校のきまり）」の遵守… 大日小ガイドの活用
- 「校内いじめ防止基本方針」に基づくいじめの根絶…全職員でアンテナを高く、情報共有
- 考え、議論する道徳教育の実践…年間時数の確実な実施（道徳的実践力の育成）研究教科
- あらゆる機会を捉えた人権教育の充実…日常こそ人権教育の宝庫、人権週間の活用等
- 多様性への理解促進…特別支援教育の充実、外国にルーツを持つ児童への支援の充実、国際理解教育の充実、LGBTQの理解促進 等
- 健康・安全教育の充実
- キャリア教育の推進
- 合唱による児童同士（全校・学年・学級）の一体感の醸成（全校集会、音楽集会、学校行事 等）
- たてわり活動による思いやり・助け合いの心の育成（全校縦割り活動・縦割り清掃・運動会等）

3 安全安心な学校づくり

- 危機管理**…あらゆるリスクを想定した実働的な危機管理体制の構築（災害・事故・事件等）
 - ① 不断の見直しを辞さない「危機管理マニュアル」の作製と運用
 - ② 迅速に対応できる連絡体制の確立（緊急連絡体制の再構築 電話・マチコミメール）
 - ③ 無理のない参集計画
 - ④ 真に必要な業務に焦点化した業務継続計画（継続が必要な業務の洗い出し）
 - ⑤ 役割分担を明確にしたチーム対応（役割分担の再確認）
 - ⑥ 次に生かす情報の蓄積（対応時、対応後の記録の蓄積と整理）
 - ⑦ 避難訓練、救急救命法、不審者対応訓練などによるいざという時への備え
- 不祥事根絶**…すべての信頼、すべての幸せを破壊する不祥事の絶対根絶
 - ① 事例に学ぶ現状の認識（不祥事根絶リーフレット等の活用）
 - ② 危機意識の維持継続（教育長緊急メッセージ、県教委からのメッセージ等の活用）
 - ③ モラールアップ委員会を活用したチーム意識と根絶意識の向上
 - ④ 研修を通じた再確認・再認識（自分事意識の向上・意図的不祥事と不注意的不祥事の認識）
- いじめ防止**…いじめの絶対根絶
 - ① 校内いじめ防止基本方針に基づく、実働的ないじめ防止対策推進委員会の実施
 - ② 子どもたちへの継続的な啓発活動（道徳・人権集会・いじめ根絶キャンペーン・命の教育）
 - ③ 子どもたちの発するサインをチームで見逃さない体制（常に情報連携・情報共有）
 - ④ いじめと認識される事態が発生した時のチームでの対応
- 健康・安全教育**…「命の教育」（健康・安全）を通じた幸せの土台づくり
 - ① 自ら進んで運動に親しむ態度の育成（外遊びや運動の啓発）
 - ② 保健指導・給食指導等をとおして、自らの健康・体の状態に興味関心を持たせる。
グループによる給食場面を
 - ③ 安全に対する意識の向上…特に交通安全。実際の事故発生現場の情報共有
 - ④ 避難訓練の充実…想定する状況、めあてを明確に。実際に想定して。
- 開かれた学校運営**…「地域に学び、地域とともに」ある学校づくり
 - ① 学校の取り組みの情報発信（HP、学校だより、学年だより、保健だより）
 - ② 地域との連携（地域の人やモノを活用した授業、校外学習の実施、等）
地域の開拓の歴史を知る機会を（研修の継続）
- 小中・小小連携の推進**…四街道西中との小中連携、四街道小との小小連携
 - ① 教育課程の編制時点からの協同作業
 - ② 小中コーディネーター会議（中学校区）
 - ③ 学習に関する共通行動（授業規律・話し合い教え合い・家庭学習）
 - ④ 生活等全般に関する共通行動（挨拶返事・思いやり・清掃（黙働）・自学・健康・安全）
 - ⑤ キャリア教育の推進…夢や目標を意識して取り組ませる機会（児童生徒相互の学校訪問）
- 業務改善の推進**…働き方への意識改革と業務のスリム化・効率化
 - ① パソコンソフトによる出退勤時刻の把握と意識化
 - ② ノー残業デーの実施（毎週木曜日）
 - ③ 校務支援システムの活用促進
 - ④ 会議資料のペーパーレス化促進（職員会議・企画会議・各種委員会等）
 - ⑤ 業務のスリム化・効率化（提出物の内容・方法・回数等、行事や学習活動の見直し 他）
 - ※週当たり時数を各学年 R5 より 1 時間削減
 - ※通知表の総合所見を後期のみとする。（個別面談を 9 月に実施）
 - ※学級経営案を目標申告に兼ねる
 - ※掲示物の見直し 教室の換気が必要、採光、整然とした教室環境
 - ※宿題の見直し 本当に必要かどうか
 - ※電話対応時間を 17 時までとする（発信も原則 17 時まで）